

1 趣旨・位置付け

■ 10年先を見据え、本県産業が今後進むべき方向性などをまとめた本県産業振興の基本指針

2 本県産業を取り巻く環境

■ 経済環境の変化に影響を受ける基幹産業としての製造業

- ◆ 製造業全体として、バランスのとれた産業構造の実現
- ◆ 輸出に大きく依存、グローバルな経済環境の変化に大きく影響

■ 相対的に低い都市型サービス産業の集積

- ◆ 他の中核都市圏と比較して、集積が不十分な都市型サービス産業
- ◆ 卸売・小売業等の集積による中国地域における中核拠点性

■ 少子化による人口減少、高齢化の進展に伴う社会や地域の活力の低下

- ◆ 生産年齢人口の減少による労働市場の縮小、国内需要の低迷、社会・経済の活力の低下
- ◆ 全国を上回るスピードで縮小する生産年齢人口の割合

■ 国内市場の縮小、新興国の台頭等に伴う競争の激化

- ◆ 新規成長市場の獲得を巡る地域間競争・国際競争の激化
- ◆ 地域貿易協定(EPA/FTA)締結の動き
- ◆ 県内企業の事業縮小、生産拠点の海外移転の懸念

5 目指すべき姿の実現のための考え方

■ 本県の強みを最大限に活かして、新規・成長市場の獲得を目指した挑戦！

本県の強み

■ 基幹産業である製造業・ものづくり技術・ノウハウ

- ◆ 中四国九州で6年連続1位の製造品出荷額等
- ◆ 卓越したものづくり技術・ノウハウの蓄積
- ◆ 全国や世界に確固たる地域を築いている企業(オンリーワン・ナンバーワン企業など)

■ アジアにおける優位性

- ◆ 東アジア諸地域に対する地理的近接性
- ◆ 定期航路(航空路線、国際コンテナ航路)などの交通網の整備
- ◆ アジア諸地域との友好関係を構築している自治体

■ 研究開発機関等の集積と成長ポテンシャル

- ◆ 広島中央サイエンスパークを中心とした研究開発機関等の集積
- ◆ 広島発祥の企業による全国展開・海外展開
- ◆ 県内企業による様々な産業分野への取組
- ◆ 産業活動における起業家精神

■ 中国地方における中核拠点性

- ◆ 中国地域における人口の集積
- ◆ 広島都市圏における人口集積、国の行政機関や大企業の支社・支店の集積、大型商業施設や娯楽施設等の集積
- ◆ 豊富な観光資源、三大プロなど

強みを最大限に活用

3 基本理念

■ 魅力のある雇用が創出され、県民が将来に向かって大きな希望を持てる強固な経済基盤の確立

4 目指すべき姿(将来像)

■ ものづくり産業における世界トップレベルの技術の集積を活かしつつ、新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ確に対応できる「イノベーション立県」が実現している。

■ 新たな挑戦や意欲ある取組が活発に行われ、アジアを中心とする成長市場を獲得している。

■ 経営能力や高度な技術・技能を備えた多彩な産業人材の育成・集積が進み、イノベーションを生み出す源泉となっている。

■ 本県産業の柱である「ものづくり」に加え、観光が本県の成長を支える産業の一つとなっている。

6 本県産業振興の方向性

I イノベーションを通じた新たな産業の育成

県内企業が、イノベーションにより、新たな産業やビジネスを創出し、成長分野への事業を展開

(1) 環境・エネルギー関連産業の育成

- ◆ ものづくり企業を核に、関連企業等の高度化・集積化による産業クラスターの形成(太陽電池分野(部素材・製造装置)、LED分野、環境浄化・リサイクル分野など)

(2) 交流・賑わい型産業の育成

- ◆ 観光イノベーションの推進・観光プロモーションの強化
- ◆ 観光イノベーションを下支えする観光人材の育成等

(3) 新たなビジネスモデルの創出

- ◆ ものづくり技術・ノウハウとライフサイエンス分野の研究資源の結合による新たな事業分野の創出、製品の高付加価値化(医療機器分野、人間工学分野など)

II 基幹産業の競争力の強化

県内企業が、県内において持続的に発展し、事業活動を継続的に実施

(1) 次世代自動車への対応

- ◆ カーエレクトロニクス対応の強化
- ◆ 環境に対応した技術の革新
- ◆ 新分野の創出に向けた取組の促進

(2) ものづくり産業の高度化・低炭素化

- ◆ ものづくり産業の高度化及び環境負荷の低減に資する研究開発の推進

III アジアを中心とする成長市場を取り込んだ事業展開(アジア戦略)

県内企業が、アジアの成長市場を取り込み、広く事業を展開

(1) 成長市場を取り込むビジネス展開

- ◆ 県内企業のマーケティング力の強化等による巨大成長市場への参入・獲得
- ◆ 海外成長企業による県内投資の拡大・促進

(2) 優秀な海外人材の活用

- ◆ 産学官連携による優秀な海外人材の受入れ、育成、県内企業への就職の取組強化

(3) 観光客誘致の促進

- ◆ 「瀬戸内 海の道構想」の実現に合わせた誘客の促進
- ◆ 空港を活用した東アジアを中心とする各国からのインバウンド誘致
- ◆ 中国地方の観光エリアとしての魅力向上と誘客の促進

下支え(支援)

7 横断的施策(新たな支援の仕組み)

新たな挑戦や意欲ある取組を行う中小企業を中心とした県内企業を下支え(支援)

I 技術・知識

- ◆ 地域に根ざした産学連携による新たな研究開発支援の仕組みの構築
- ◆ 中小企業技術革新制度(日本版SBIIR)の推進による新商品開発支援
- ◆ ものづくり基盤技術の高度化、コア技術の開発・利用の促進
- ◆ 知的財産の活用促進

II 人材

- ◆ 産業を支える高度産業人材の育成等
- ◆ 広島版「産業革新機構」によるハンズオン支援
- ◆ ものづくりを支える技術・技能人材等の育成等
- ◆ 男女がともに働きやすい環境整備

III 資金

- ◆ 広島版「産業革新機構」による成長資金の供給
- ◆ 企業の成長段階に応じた資金供給

IV インフラ

- ◆ 規制改革・民間開放等の積極的な推進
- ◆ 本県産業のイノベーションを促進する体制の整備
- ◆ 起業や新分野へのチャレンジを応援する仕組みの構築
- ◆ 地域全体で産学官連携を促進する仕組みの構築
- ◆ 物流インフラの整備・都市機能の強化